

## Ⅶ. 評価業務

### 1. 評価委員会

外部及び内部委員による研究及び機関の評価制度（研究事業評価委員会、工業分野研究評価分科会、内部評価検討会）により評価を受けた。

#### 1-1 研究事業評価委員会

目的・役割	連携プロジェクト研究の事前・途中・事後評価及び特別研究の事前評価と、各分野研究評価分科会の評価結果の確認及び経常研究に対する助言を行う。
委員	<p>伊ヶ崎文和 (細産業技術総合研究所 九州センター長)</p> <p>奥 真美 (首都大学東京都市教養学部 教授)</p> <p>小路 武彦 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)</p> <p>小島 孝之 (佐賀大学 理事 副学長)</p> <p>坂井 秀之 (協和機電工業(株) 専務取締役)</p> <p>中田 英昭 (長崎大学水産学部 部長)</p> <p>西園 祥子 (宮崎大学産学官連携支援センター 助教授)</p> <p>納富 啓 (三菱重工業(株)技術本部長崎研究所 技師長)</p> <p>山田千香子 (長崎県立大学経済学部 教授)</p> <p>吉村 進 (細科学技術振興機構 (プログラムオフィサー) 長崎総合科学大学人間環境学部 特認教授)</p> <p>※関係機関、大学、産業界、県民代表で構成</p>
期日・場所	<p>○第1回研究事業評価委員会 日時：平成18年7月21日 14:00～16:00 場所：厚生年金会館研究事業評価委員会</p> <p>○第2回研究事業評価委員会 日時：平成18年10月10日 10:30～17:00 場所：セントヒル長崎</p>
内容 (黨業技術センター分を記載)	<p>○第2回研究事業評価委員会 経常研究計画への助言 ・低温焼成磁器の量産製造技術開発</p>
出席者	福村 喜美子、武内 浩一、河野 将明

## 1-2 内部評価検討会

目的・役割	全研究課題について、下記県内部委員による事前・途中・事後評価を行い <sup>(※)</sup> 、その評価、助言等をもとに研究機関長が自己評価を行う。 (※)平成18年度における評価の対象課題で、平成17年度の評価制度において、すでに外部評価を受けている途中評価と事後評価については除外する。
委員	振角 俊一 (物産流通推進本部 副本部長) 加藤 純 (企業振興・立地推進本部 副本部長) 山崎 直樹 (環境政策課 課長) 徳永 孝二 (廃棄物・リサイクル対策課 課長) 代理：赤木 聡 総括補佐 沢水 清明 (新産業創造課 課長) 代理：山下 三郎 補佐 稲田 雅厚 (科学技術振興課 課長) 福村 喜美子 (窯業技術センター 所長) ※(当該研究機関長、科学技術振興課、関係課で構成)
期日・場所	日時：平成18年7月11日 9:20~12:00 場所：出島交流会館
内容 (窯業技術センター分を記載)	平成19年度の新規研究課題の事前評価 ①新規なリン吸着材を活用した排水高度処理装置の構築 ②高活性複合型光触媒の開発 ③低温焼成磁器の量産製造技術開発 ④遠赤外線放射体に関する研究
出席者	福村 喜美子、武内 浩一、兼石 哲也、阿部 久雄、吉田 英樹、狩野 伸自、山口 典男、河野 将明、高松 宏行

## 1-3 工業分野研究評価分科会

目的・役割	内部評価検討会後の経常研究について、外部委員による事前・途中評価を行い、課題選定のための評価と内容の磨き上げ、進捗に関する助言を行う。
委員	石松 隆和 (長崎大学工学部 教授) 宮本 憲 (宮本電機(株) 代表取締役社長) 林田 眞二郎 (長工醤油味噌(協) 理事長) 武田 浩 (日本政策投資銀行九州支店企画調整課 課長) 濱本 好哉 (不動技研工業(株) 会長) 神田 隆 (中小企業金融公庫長崎支店 次長) 下野 次男 (佐世保工業高等専門学校総合教育センター長 教授) 池末 純一 (長崎総合科学大学情報学部 教授) ※(関係機関、大学、産業界、県民代表で構成)
期日・場所	○第1回工業分野研究評価分科会 日時：平成18年8月2日 10:00~17:00 場所：セントヒル長崎
内容	○第1回工業分野研究評価分科会 平成19年度新規研究課題の事前評価 ①無機材料の遠赤外線放射特性と応用製品に関する研究 ②高活性複合型光触媒の開発 ③新規なリン吸着材を活用した排水高度処理システムの構築 ④低温焼成磁器の量産製造技術開発
出席者	福村 喜美子、武内 浩一、兼石 哲也、阿部 久雄、吉田 英樹、狩野 伸自、山口 典男、河野 将明、高松 宏行

## 1-4 機関評価委員会

目的・役割	科学技術の推進、研究開発の意義、内容、達成状況、今後の方向性等について検討し、より効率的・効果的な長崎県の科学技術・研究開発推進体制を構築し、それらをわかりやすく一般県民に開示するとともに、限られた人員・資金の研究開発リソースの中で、県の産業政策や戦略に対応した重点分野・課題へのリソース配分を効率的に行うことを目的とする。
委員	吉村 進 ((独)科学技術振興機構 (プログラムオフィサー) 長崎総合科学大学人間環境学部 特認教授) 伊藤 順司 ((独)産業技術総合研究所 企画本部 副本部長) 山川 理 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 所長) 田代 慈邦 ((財)知的資産活用センター 専務理事) 高田 仁 (九州大学大学院 経済学研究院 助教授 九州大学知的財産センター 技術移転グループリーダー) 松尾 靖彦 (中小企業基盤整備機構 統括マネージャー ベンチャーサクセスシステムズ代表) ※ (研究開発マネジメントの有識者)
期日・場所	○第2回機関評価委員会 日時：平成18年10月30日 14:00～17:00 場所：セントヒル長崎 ○第3回機関評価委員会 日時：平成19年2月9日 10:00～16:00 場所：セントヒル長崎
内容	科学技術振興課において、科学技術振興に関する全体の機関評価を行った。18年度は研究機関個別の機関評価は行われなかった。
出席者	福村 喜美子、武内 浩一

## 2. 県有特許権等取得活用審査会

目的・役割	県研究機関職員の職務発明のうち、科学技術振興課の所管に係る特許権、実用新案等の審査請求、更新または処分について審査を行う。
委員	立山 博 (科学技術振興局 局長) 稲田 雅厚 (科学技術振興課 課長) 加藤 敏 (発明協会長崎県支部 特許流通アドバイザー) 馬場 靖一郎 (発明協会長崎県支部 知的財産活用推進員) 諸岡 隆吉 (発明協会長崎県支部 特許情報活用支援アドバイザー)
期日・場所	○第1回：平成18年6月16日 (長崎市・県庁) ○第2回：平成18年11月15日 (長崎市・県庁)
内容	審査対象及び審査結果 ○第1回 ①特願2003-287503「象嵌セラミックスの製造方法」 審査結果：審査請求を行う。 ○第2回 ①特願2004-58254「機能性超微粒子材料の製造方法」 審査結果：審査請求を行わない。 ②特願2006-075761「光触媒用の機能性超微粒子材料、その製造方法及び製品」 審査結果：審査請求を行う。 ③特願平11-364071「陶磁器製造工程で生じる廃材を利用した結晶化ガラスの製造方法」 審査結果：審査請求を行わない。 ④特願2001-17514「ゴミ焼却灰の固化方法」 審査結果：審査請求を行わない。 ※ (窯業技術センター関係分のみ記載)
出席者	武内 浩一、兼石 哲也、阿部 久雄、吉田 英樹、狩野 伸自

### 3. 所内課題検討会

#### 3-1 新規研究課題検討会

目的	平成19年度に取り組む予定の新規研究テーマの内容について、研究事業評価委員会に諮るため所内で検討（ブラッシュアップ）を行う。
委員	福村 喜美子、武内 浩一、野田 宏美、阿部 久雄、兼石 哲也
期日	平成18年 5 月 9 日～5 月29日
内容	経常研究への新規提案課題 5 テーマに対して、合計10回の検討会を実施した。

#### 3-2 実施研究課題検討会

目的	平成18年度に実施中の研究課題について、研究方法や実験結果など進捗状況を把握し、研究成果の見通しと方向性について検討を行う。
委員	福村 喜美子、武内 浩一、野田 宏美、阿部 久雄、兼石 哲也
期日	第1回 平成18年 7 月20日～8 月31日 第2回 平成18年12月 4 日～12月 6 日 第3回 平成19年 2 月16日～3 月 6 日
内容	連携プロジェクト研究 1 課題、経常研究 7 課題、行政要望課題 2 事業に対して、各 3 回の検討会を実施した。